



# Peru-Japan Workshop on Peruvian Space Utilization

## Session 4 Free discussion

January 26/27, 2012

President

Susumu SAMBOMMATSU

Institute for Unmanned Space Experiment Free Flyer ( U S E F )

## Session 4 Free Discussion

- 1 Present situation and difficulties for Peruvian space utilization ( space data utilization and acquisition ) to contribute to the necessary actions for solving the problems about Peruvian Economic and Social Development
  - 1 Preservation and monitoring of the Amazon forest
  - 2 Water resources    3 Agriculture
  - 4 Energy, mining, resource development, monitoring
  - 5 Disaster                    6 Climate and sea monitoring
- 2 Taking the merits by Japanese high resolution space data from small high resolution satellite
- 3 Taking the merits by your own satellites and operation to get the timely data and historical database .
- 4 The necessity for development of space human resources
- 5 The necessity for development of whole space utilization program

## 1 今後のペルーの経済社会発展に向けて直面する種々の課題の解決に資する衛星データの利用と衛星データ調達、対応する衛星開発の現状と課題

ペルーは広大な熱帯雨林や高山地方、広い海岸線を有しており、今後のペルーの経済社会発展に向けて、主にa環境監視、b防災、c鉱山保安、d森林資源涵養、e海洋監視関連、等の諸課題を国内に抱えている。  
また、現状では海外の高い商用衛星データを購入し、自国での高性能な地球観測衛星開発能力を保持していない。

## 2 日本の高分解能地球観測衛星のメリットを生かす

ASNARO衛星の様な高精度観測衛星の利活用は、これら課題解決に向けた政策形成のために新たな支援手段となる。

## 3 独自衛星保有のメリットを生かす

ペルー国内に自前の衛星を保有し、各衛星データ利用機関からの要望集約の元、国情に応じたタイムリーな衛星データの取得、衛星データ解析を行い、各機関に有効なデータを配信することが、衛星の特性を最大限に活用したペルー独自のベストソリューションとなることを理解した。

## 4 人材育成の必要性

ペルーは、宇宙人材の教育システムが未発達で、今後とも中長期的な観点からの関連する利用分野、衛星開発・運用分野の人材育成プログラムが不可欠である。

## 5 包括的な宇宙利用拡大プログラムの構築が必要

双方は、この高精度観測衛星の利活用の実現のためには、国内の多様な利用ニーズと衛星情報取得、利用データ提供、等に関する包括的な利用拡大プログラムが必要で、そのためのF/Sの実施、プロジェクトフォーメーション形成、資金調達スキーム、さらにはこれらを実行するための中長期的な宇宙人材育成スキーム、等を形成する必要があることを理解した。